

東北福祉大学 社会教育実習について

1、科目の性格

本科目は、「社会教育主事任用資格」の取得を希望する学生を対象に開設されている科目で、資格取得のための選択必修科目の一つです。本学の学生は、社会教育演習Ⅰ、同Ⅱ、社会教育実習、社会教育課題研究の中から2科目選択できるようになっていますが、学科によっては、この実習科目が必修となっています。

前期に事前実習を含めた事前指導を行います。社会教育施設の意義についての講義や本実習の準備として青少年自然の家での体験活動支援に必要な知識・技術（野外炊飯・簡単なゲーム指導・救命救急対応など）の習得を目指した指導を実施しています。

2、実習の内容

本学では、基本的には授業に重ならない時期（主に夏休み）を利用して、青少年自然の家などの社会教育機関、各地の公民館や教育委員会社会教育（生涯学習）課などで本実習を行っています。本実習では、学生は各実習機関の職員の指示に従って行動します。

実習の内容は、社会教育施設の役割および施設の整備、社会教育主事の仕事について現場の活動を通じた学習、事業の準備・実施・学習支援の実際についての体験学習、野外炊飯・ゲーム・キャンプファイヤー・登山・オリエンテーリングなどの活動支援が含まれます。これらの中から、各実習機関の特徴を生かした内容をいくつか選択して独自に編成し、ご指導いただきます。実習プログラムに必ず盛り込まなければならない項目の指定はありません。

3、実習ノートについて

実習に参加する学生には、実習ノートを配布しています。実習中、毎日の活動内容を記録し、その日の活動を通して学んだことや反省点、感想などを記入します。実習を担当していただく職員の方には、ノートに目を通していただき、気づいた点などを指導職員のコメント欄にご記入くださるようお願いしております。そして記入後、お手数ですが本学にご返送ください。科目の評価の参考資料とし、こちらから学生に返却いたします。

4、科目の評価

評価は、各実習機関の評価を踏まえて、本学担当教員が行います。